

NHO フェローシッププログラム申請書（呼吸器外科）

1. プログラム名：呼吸器外科専門医取得プログラム

病院名：渋川医療センター

2. 診療科（専門領域）：外科

（呼吸器外科、既に外科専門医を取得され呼吸器外科専門医取得を目指す医師）

3. コースの概要

留学期間中、呼吸器外科6か月を研修し、日本呼吸器外科学会が定める専門医取得に必要な症例数を経験する。

4. 目標

一般目標：呼吸器外科の総合的な診療能力を高め問題解決能力を取得すること。

手術手技のみならず、検査や術前術後管理についての基本的な概念を習得します。

短期目標：留学期間内に、日本呼吸器外科学会専門医取得に必要な、上記専門領域における手術手技症例を経験することを目標とする。

【期間内の目標手術経験数（術者数/経験数）】

呼吸器外科：50例/100例

長期目標：外科学の専門知識と幅広い臨床能力を取得し、外科医としての全人的な育成を行う。外科診療において、問題点の発見と解決する能力を身につける。

5. 取得手技

呼吸器外科における外科知識の習得と、手術による治療と術前術後管理、各種検査手技（内視鏡検査、肺およびリンパ節生検、造影検査など）を学ぶ。

6. 研修期間：6ヶ月間

7. 募集人数：同時期は1名のみ

8. 診療科の実績と経験（術者もしくは助手）目標症例数（任意）

【呼吸器外科】

No.	疾患	実績（年間）	目標件数（6ヶ月間）
1	原発性肺癌	110	50
2	他	80	40

9. 診療科の指導体制

診療科	常勤医師数	指導責任者（経験年数）
呼吸器外科	2	川島 修（25年）

10. コンセプト

当院は肺癌を中心とした癌治療を専門に行う病院で、肺癌の手術症例数は NHO の中でも常に上位にある病院です。また呼吸器外科専属医は 2 名であり、1 名当たりの手術症例が多いのも特徴の一つです。

本コース選択者は、呼吸器外科領域について、個々の能力や経験に見合った指導を受け、日本呼吸器外科学会専門医を取得できるための必要経験症例数を経験することが可能です。

11. その他

関連領域の研修に関して：留学期間内に必要症例数をクリアし、他科での研修を希望する者には考慮します。

共通領域研修について：院内開催の卒後教育研修や院外セミナー・研修・講演会に自由に参加できます。

各種研究会、研修期間中の全国学会には積極的に参加して頂きます。